

# 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果概要について

## 吉野川市教育委員会

文部科学省が実施している「全国学力・学習状況調査」における吉野川市の結果の概要についてお知らせします。なお、本調査により測定できるのは、特定教科の学力の一部分や教育活動の一側面です。

## 1 はじめに

「全国学力・学習状況調査」は児童生徒の学力を把握し、学校での教育活動を充実させ、児童生徒の学習状況の改善に役立てることを目的に毎年4月に実施されています。

吉野川市教育委員会におきましては、調査結果の概要の公表をとおして、学力や生活の特徴的な傾向を共有し、教育課題を改善するために、学校・家庭・地域が連携して、児童生徒のさらなる学力向上をめざしていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。なお、調査結果の概要ということで、学力や生活の特徴的な傾向が表れている内容について、現状や改善の方向性を示す形でまとめています。

## 2 調査の概要

### (1) 調査目的

- ① 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③ ①②のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### (2) 調査対象

- ・小学校第6学年の全児童（本市対象児童数234名）
- ・中学校第3学年の全生徒（本市対象生徒数222名）

### (3) 調査内容

- ① 教科に関する調査（小学校：国語、算数、理科）（中学校：国語、数学、理科）
  - ・国語、算数・数学、理科はそれぞれ次の(ア)と(イ)を一体的に出題
    - (ア) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
    - (イ) 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- ② 質問紙調査
  - ・児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活に関する調査内容）
  - ・学校に対する調査（指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備などに関する調査内容）

### (4) 調査日時

- ・令和7年4月17日（木）

### 3 全国学力・学習状況調査の分析結果

#### (1) 教科に関する調査結果 —全国正答率との比較から—

##### 小 学 校 (吉野川市)

教 科	結 果
国 語	吉野川市全体の正答率・・・・・・・・・・ ほぼ同程度 ・「知識及び技能」・・・・・・・・・・ 上回る ・「思考力・判断力・表現力等」・・・・・・ やや下回る
算 数	吉野川市全体の正答率・・・・・・・・・・ 上回る ・「知識及び技能」・・・・・・・・・・ 上回る ・「思考力・判断力・表現力等」・・・・・・ 上回る
理 科	吉野川市全体の正答率・・・・・・・・・・ やや下回る ・「知識及び技能」・・・・・・・・・・ ほぼ同程度 ・「思考力・判断力・表現力等」・・・・・・ 下回る

##### 中 学 校 (吉野川市)

教 科	結 果
国 語	吉野川市全体の正答率・・・・・・・・・・ 下回る ・「知識及び技能」・・・・・・・・・・ 下回る ・「思考力・判断力・表現力等」・・・・・・ 下回る
数 学	吉野川市全体の正答率・・・・・・・・・・ 下回る ・「知識及び技能」・・・・・・・・・・ 下回る ・「思考力・判断力・表現力等」・・・・・・ 下回る
理 科	吉野川市全体の正答率・・・・・・・・・・ 下回る ・「知識及び技能」・・・・・・・・・・ 下回る ・「思考力・判断力・表現力等」・・・・・・ 下回る

上回る	+2.0%以上
やや上回る	+1.0%～+1.9%
ほぼ同程度	-0.9%～+0.9%
やや下回る	-1.0%～-1.9%
下回る	-2.0%以下

## (2) 設問別の主な集計結果

### ◇ 小学校国語 ◇

#### 《 身に付いている力 》

- ① 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる
- ② 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができる
- ③ 図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる

#### 《 課題のある力 》

- ① 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる
- ② 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる
- ③ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる

### ◇ 小学校算数 ◇

#### 《 身に付いている力 》

- ① 異分母の分数の加法の計算をすることができる
- ② 角の大きさについて理解している
- ③ 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができる

#### 《 課題のある力 》

- ① 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できる
- ② 「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができる
- ③ 目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる

### ◇ 小学校理科 ◇

#### 《 身に付いている力 》

- ① 電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いている
- ② 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができる
- ③ 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、【結果】や【問題に対するまとめ】を基に、他の条件での結果を予想して、表現することができる

#### 《 課題のある力 》

- ① 身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いている。
- ② レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができる
- ③ 電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができる

◇ 中学校国語 ◇

《身に付いている力》

- ① 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができる
- ② 目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる
- ③ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる

《課題のある力》

- ① 文脈に即して漢字を正しく使うことができる
- ② 資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる
- ③ 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる

◇ 中学校数学 ◇

《身に付いている力》

- ① 必ず起こる事柄の確率について理解している。
- ② 事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができる
- ③ 多角形の外角の意味を理解している

《課題のある力》

- ① 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができる
- ② ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる
- ③ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる

◇ 中学校理科 ◇

《身に付いている力》

- ① 加熱を伴う実験における実験器具の操作等に関する技能が身に付いている
- ② 火災における適切な避難行動を問うことで、気体の性質に関する知識が概念として身に付いている
- ③ 身近な電化製品の電気回路について探究する学習場面において、回路に抵抗がついている理由を問うことで、抵抗に関する知識が概念として身に付いている

《課題のある力》

- ① 化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表すことができる
- ② 大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現できる
- ③ 小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造について学習する場面において、共通性と多様性を見方を働かせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈することができる

### (3) 質問紙による調査結果

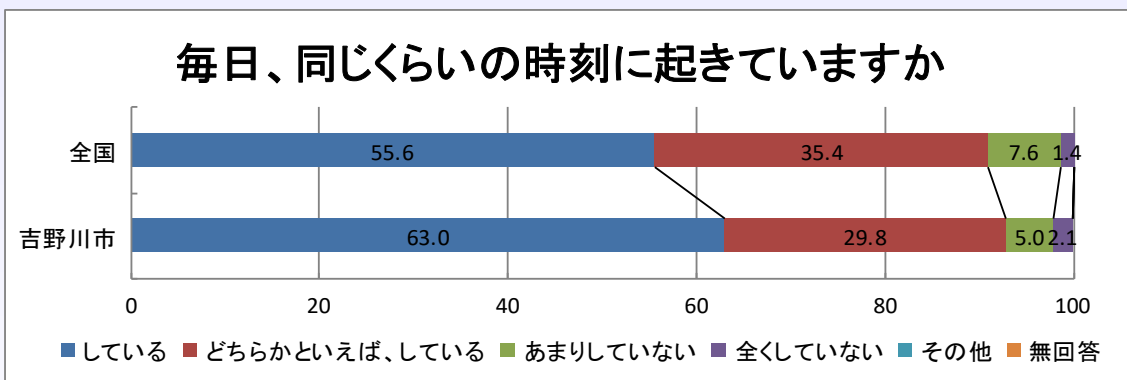
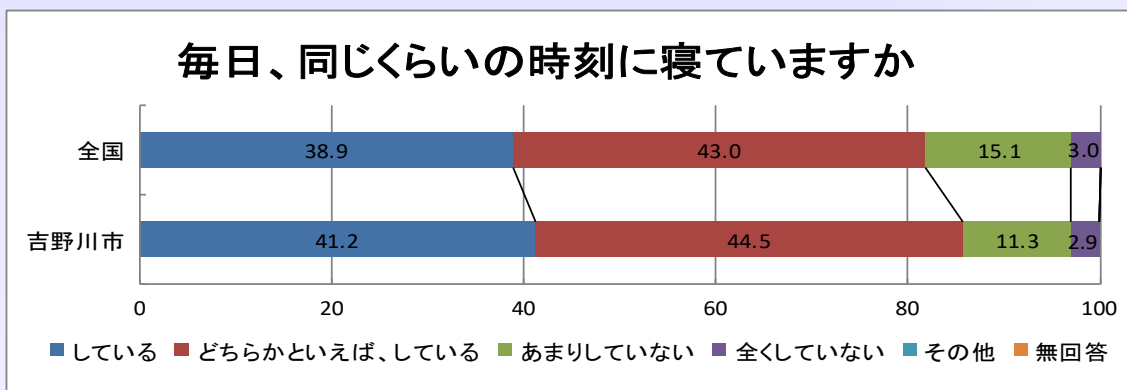
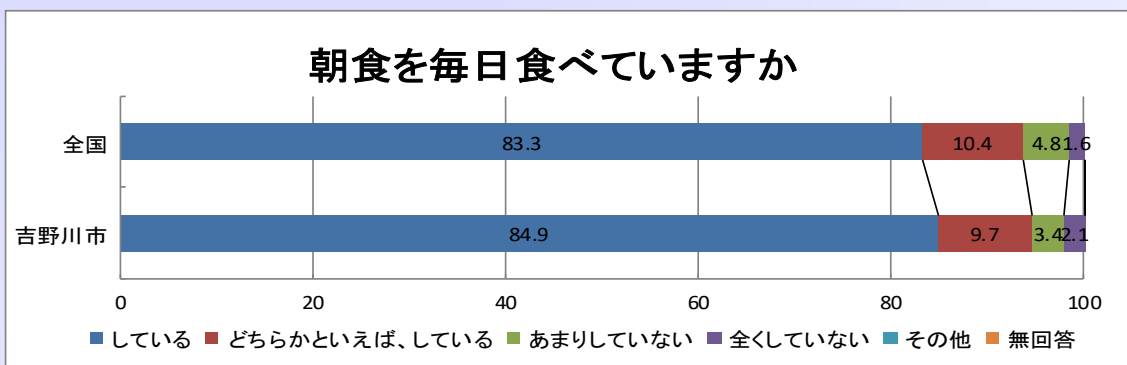
#### ① 小学校

《基本的な生活習慣等》

小学校

- 朝食を毎日食べていますか
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

「朝食を毎日食べている」と回答した児童は94.6%（全国93.7%）でした。  
 「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と回答した児童は85.7%（全国81.9%）で、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と回答した児童は92.8%（全国91.0%）でした。  
 学力との相関関係を見ると、「当てはまる」と回答した児童ほど教科の正答率が高い傾向が見られました。



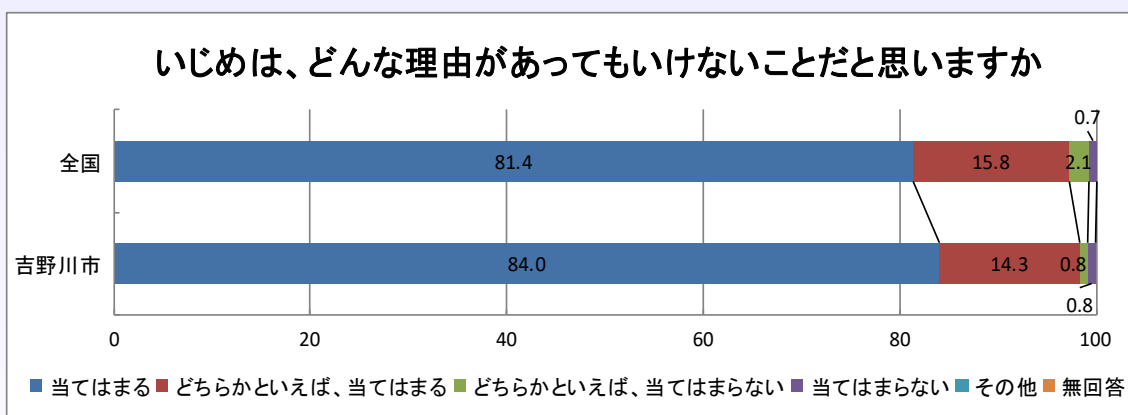
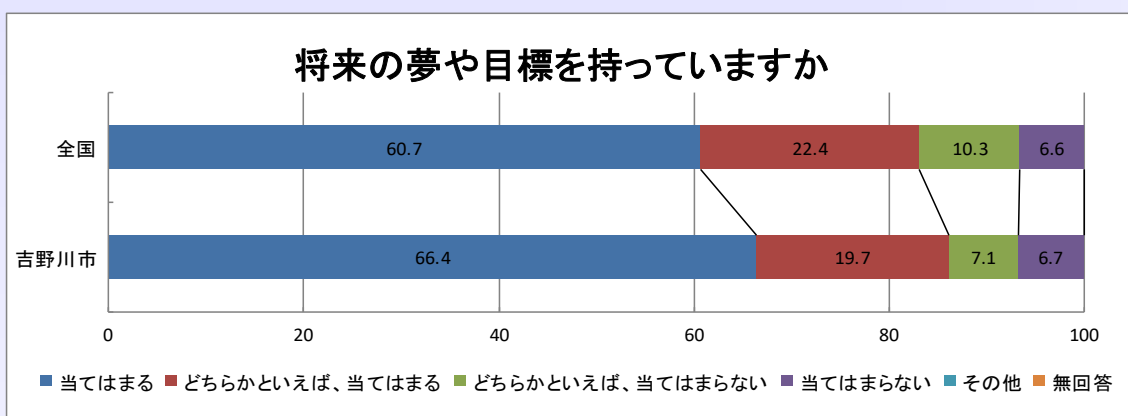
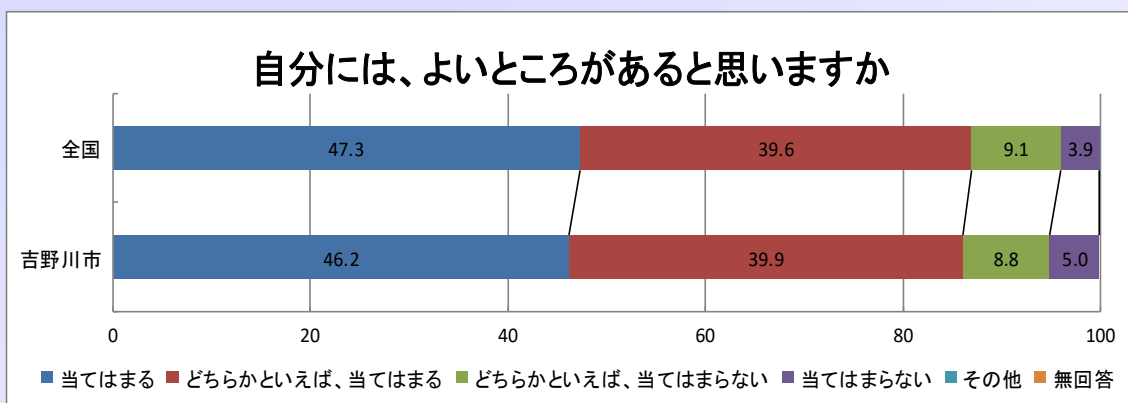
《挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等》

小学校

- 自分には、よいところがあると思いますか
- 将来の夢や目標を持っていますか
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

「自分にはよいところがある」と回答した児童は86.1%（全国86.9%）で、全国平均とほぼ同程度でした。学力との相関関係を見ると、正答率が高い児童ほど「当てはまる」と回答している傾向が見られます。今後も引き続き、児童の自己有用感等を高めていける教育活動を行っていきます。

「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童は86.1%（全国83.1%）で、全国平均を上回っていました。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童は98.3%（全国97.2%）で、全国平均をやや上回っていました。

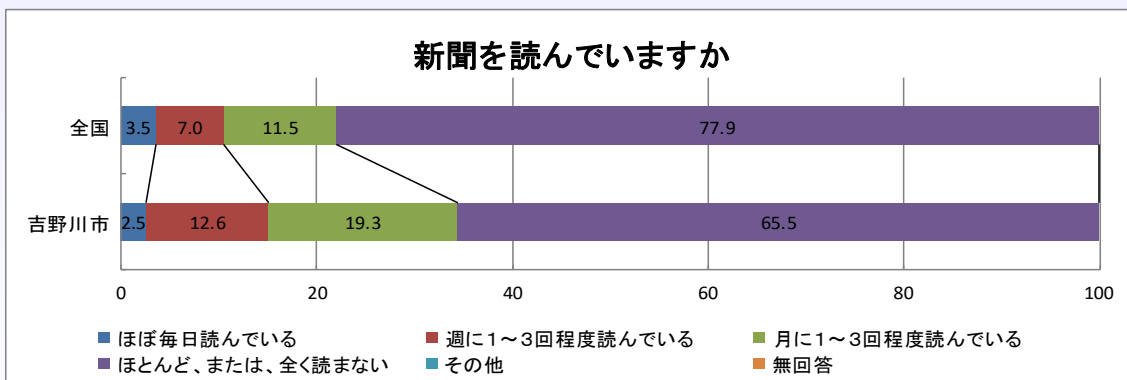
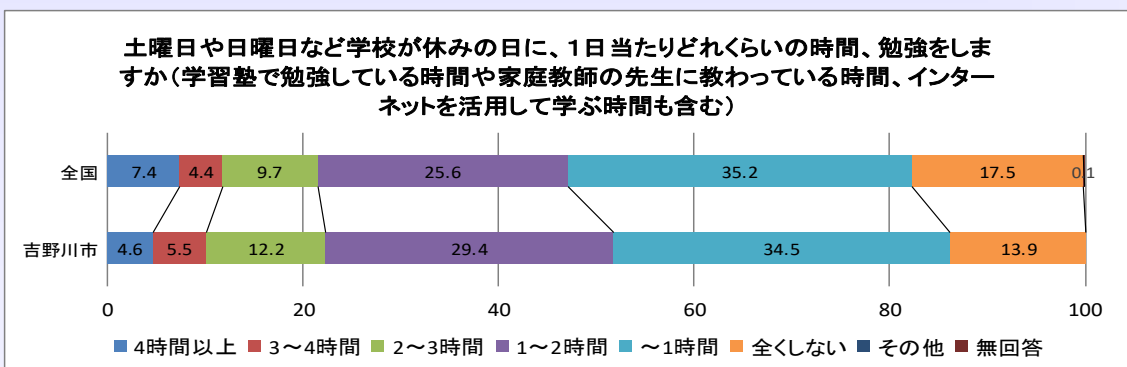
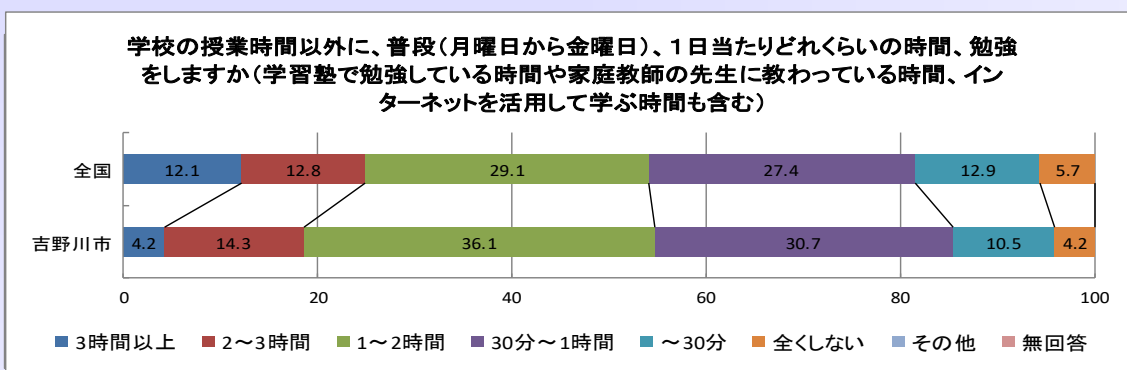


- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- 新聞を読んでいますか

「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上勉強をしている」と回答した児童の割合が54.6%（全国54.0%）、「学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強している」と回答した児童の割合が51.7%（全国47.1%）でした。

「新聞をほぼ毎日読んでいる」「週に1～3回程度読んでいる」「月に1～3回程度読んでいる」と回答した児童の割合は合わせて34.4%で、全国平均22.0%を上回っています。学力との相関関係を見ると、「ほぼ毎日読んでいる」「週に1～3回程度読んでいる」と回答した児童に国語の正答率が高い傾向が見られました。

引き続き、新聞に触れる機会を増やしていただけるように工夫してまいります。

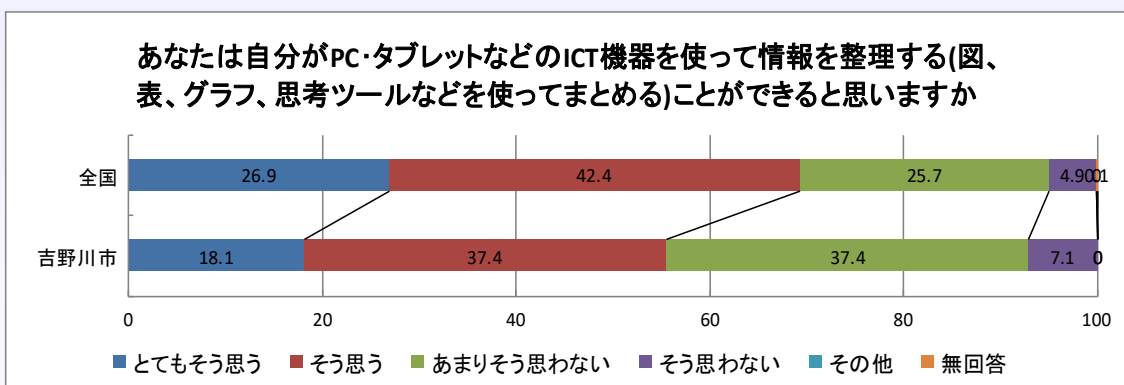
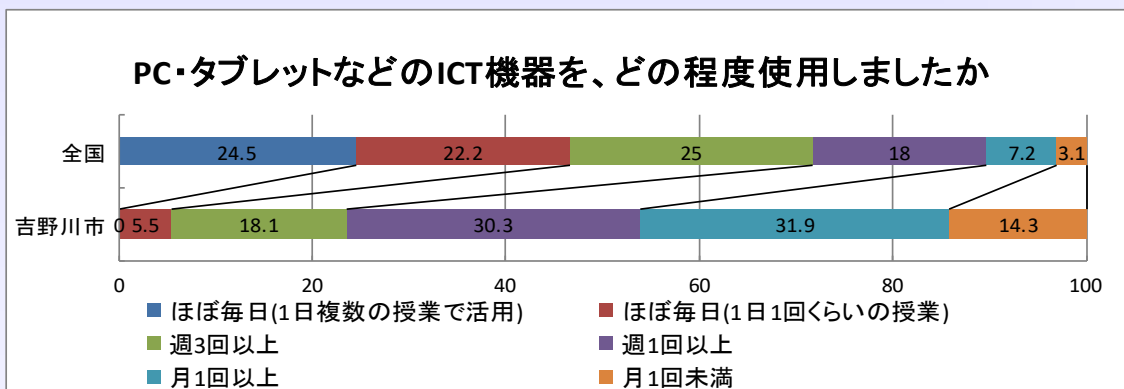
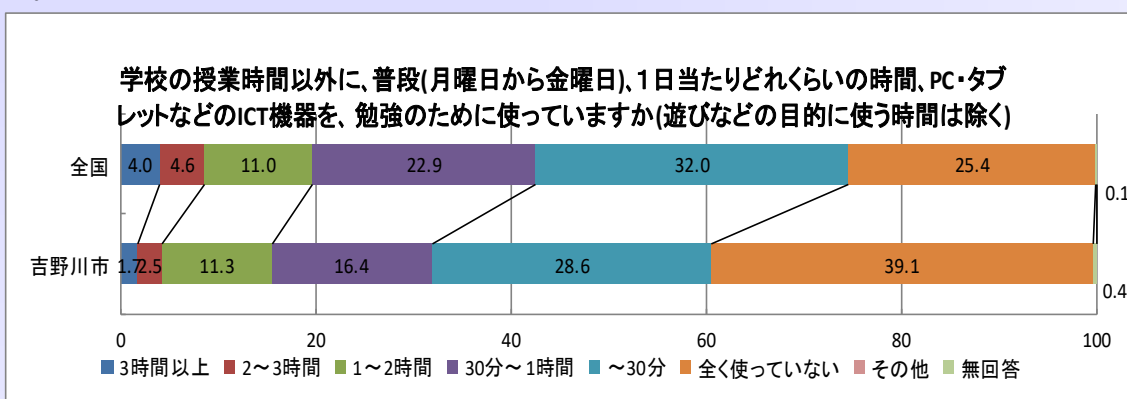


## 《ICT を活用した学習状況等》

小学校

- 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)
- 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
- あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか

「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている」と回答した児童は15.5%(全国19.6%)でした。  
 「学校の授業時間に、週3回以上、PC・タブレットなどのICT機器を使用した」と回答した児童の割合が23.6%(全国71.7%)で全国平均より大きく下回っていました。  
 「自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができる」と回答した児童は、55.5%(全国69.3%)でした。



《主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況》

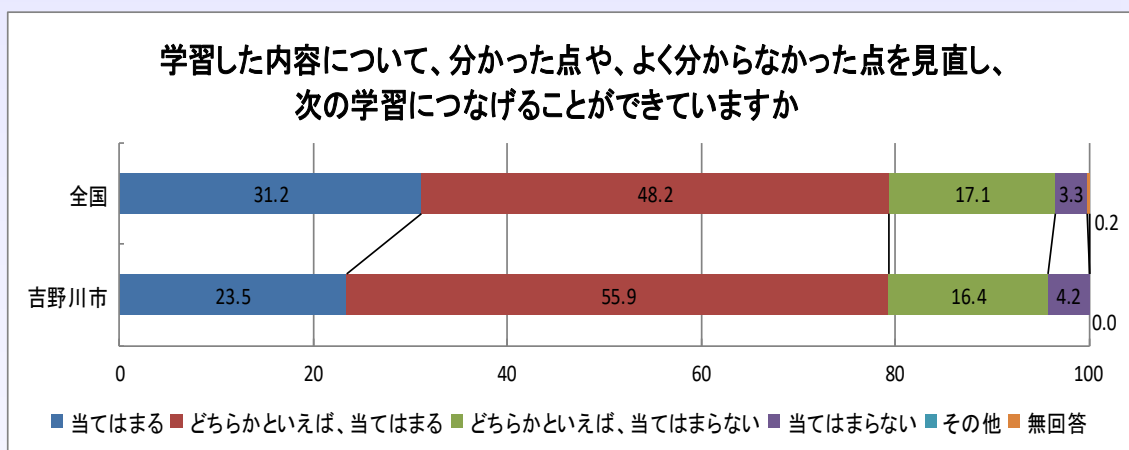
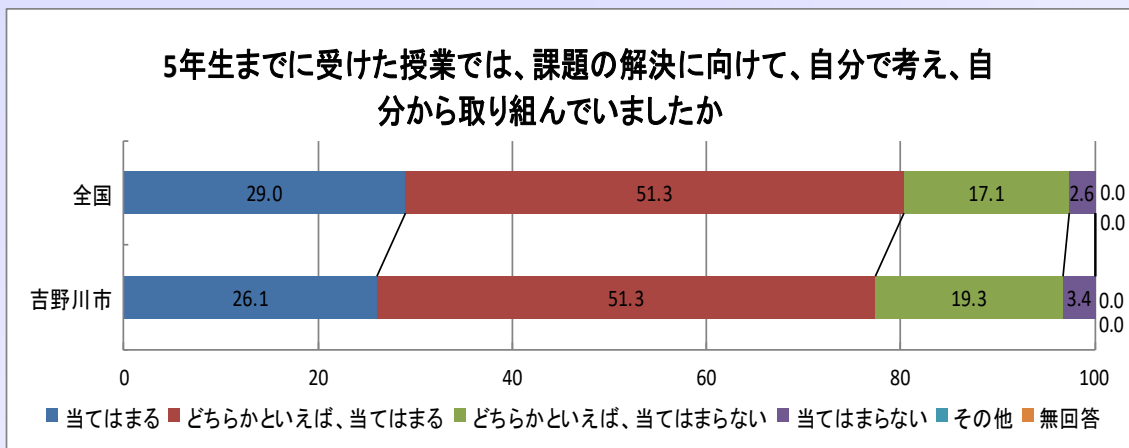
小学校

- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

5年生までに受けた授業において「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている」と回答した児童は77.4%（全国80.3%）で全国平均を下回っています。

また、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と回答した児童は79.4%（全国79.4%）で、全国平均とほぼ同程度でした。

学びを振り返る場面を授業で適切に設定し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善に取り組んで参りたいと思います。

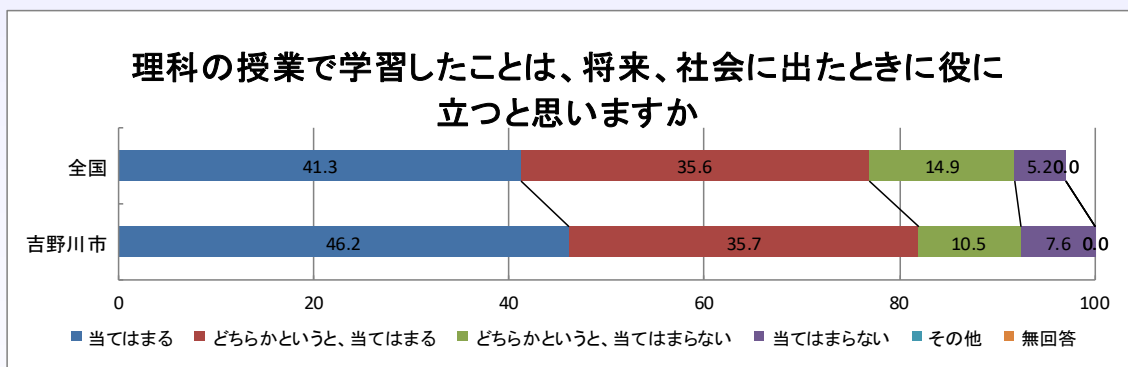
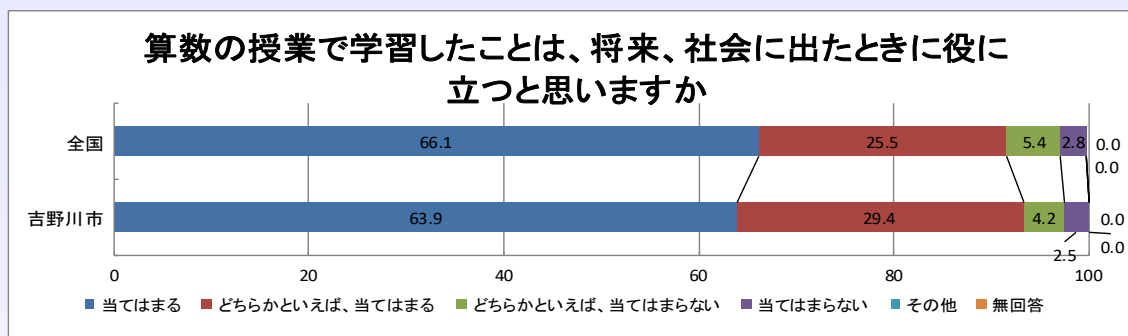
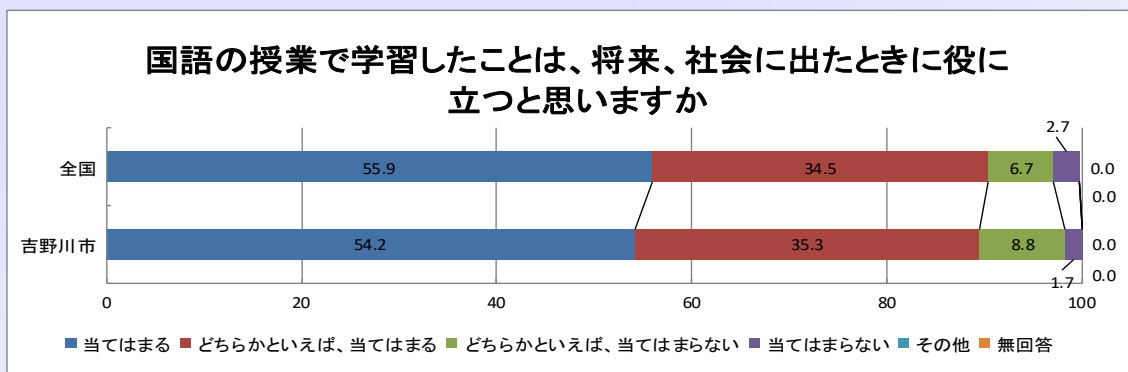


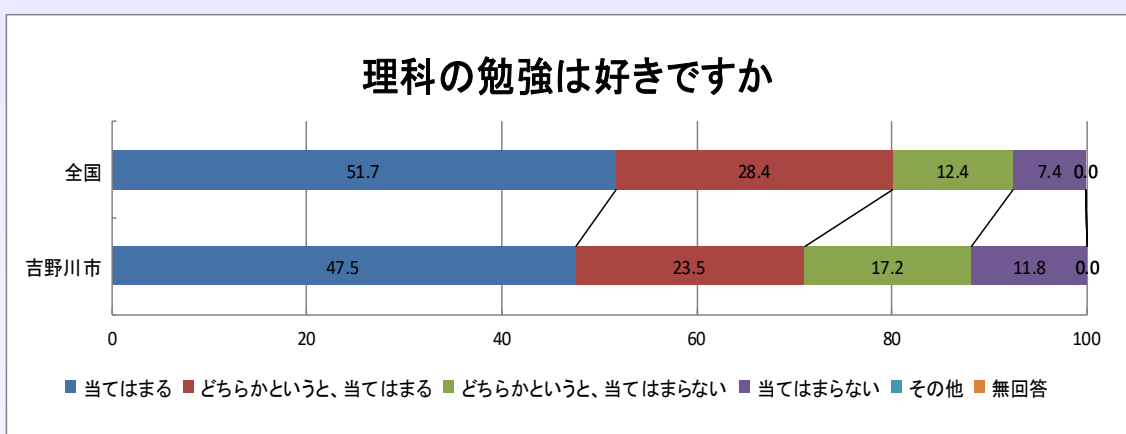
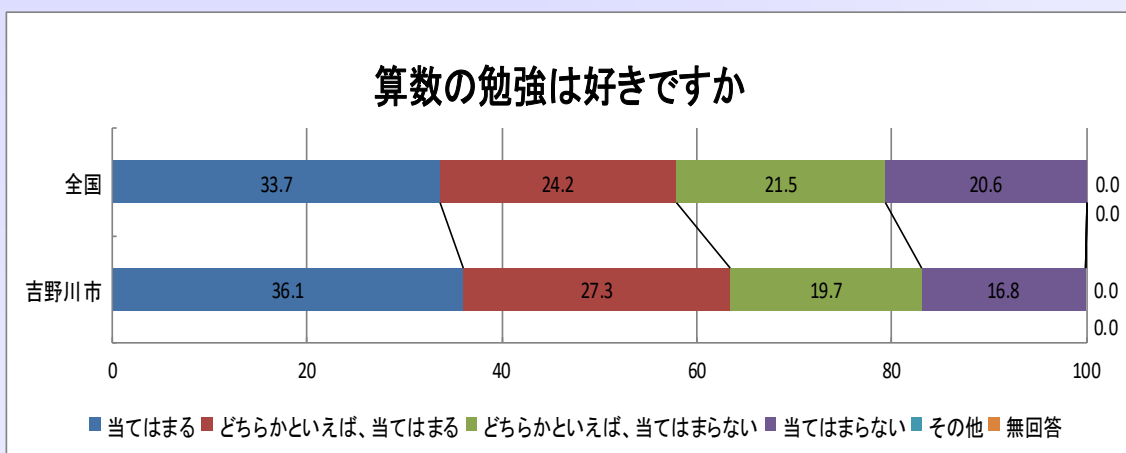
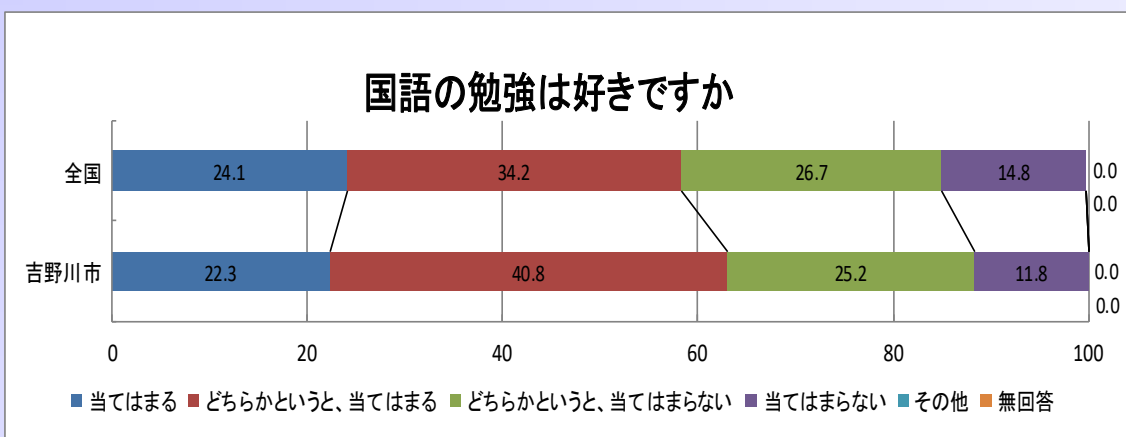
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 国語の勉強は好きですか
- 算数の勉強は好きですか
- 理科の勉強は好きですか

「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が89.5%（全国90.4%）、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」は93.3%（全国91.6%）、「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合は81.9%（全国76.9%）でした。

また、「国語の勉強は好きだ」と回答した児童は63.1%（全国58.3%）、「算数の勉強は好きだ」と回答した児童の割合は63.4%（全国57.9%）で全国平均を上回る結果となっています。「理科の勉強は好きだ」と回答した児童は71%（全国80.1%）で全国平均を下回る結果となっています。

子どもたちが「勉強が楽しい」「勉強が好きだ」と感じられるような授業を展開していくための、授業改善に取り組んでまいります。





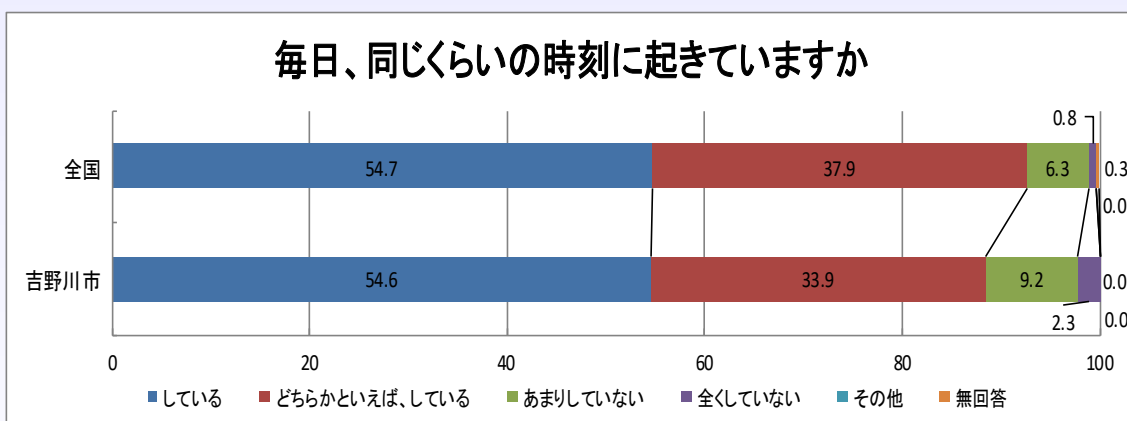
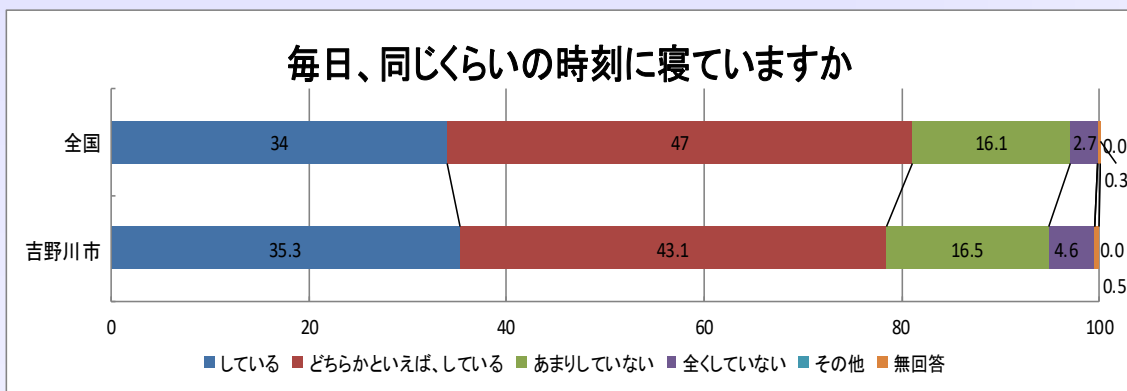
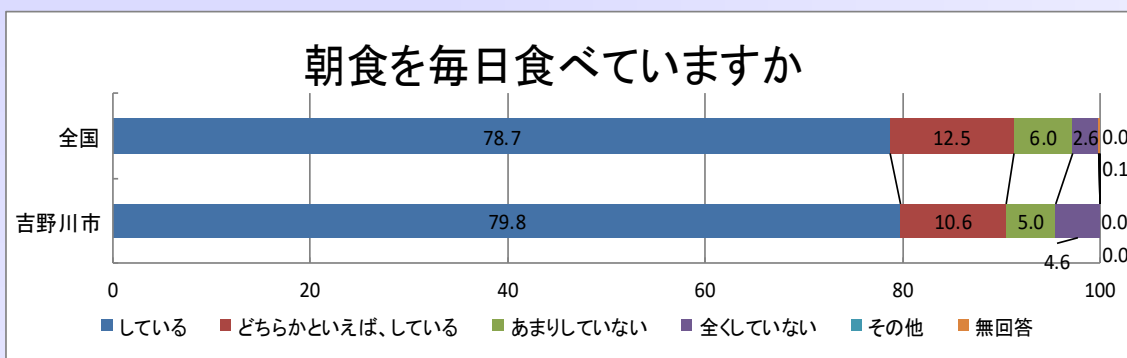
## ② 中学校

### 《基本的生活習慣等》

中学校

- 朝食を毎日食べていますか
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

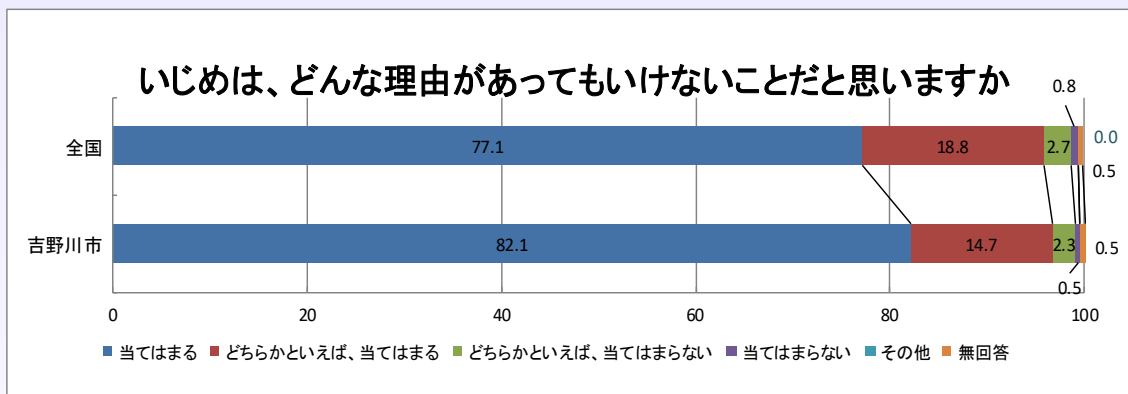
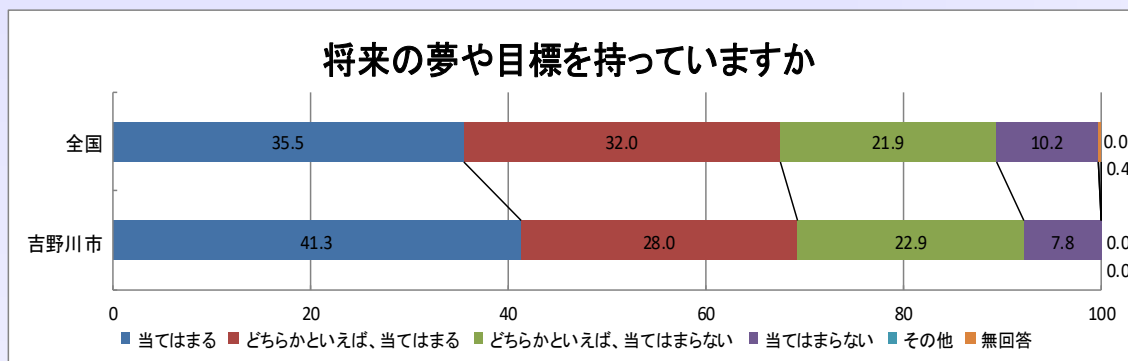
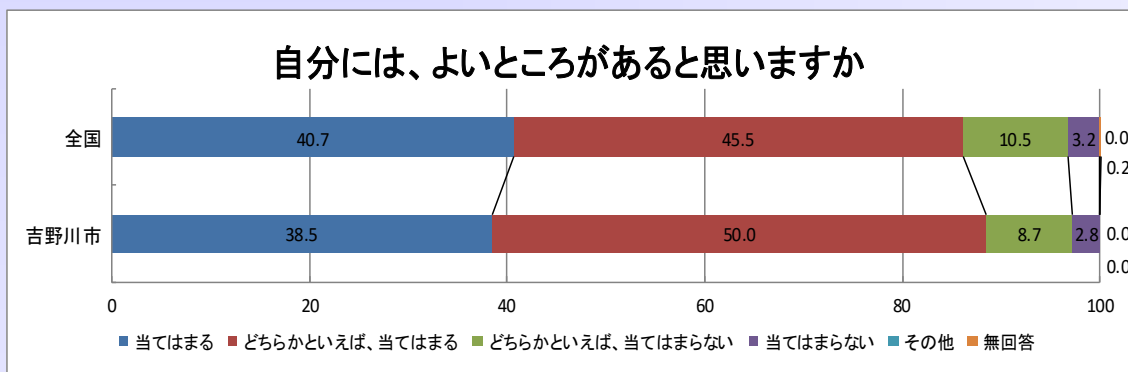
「朝食を毎日食べている」と回答した生徒は90.4%（全国91.2%）でした。  
 「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と回答した生徒は78.4%（全国81.0%）で、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と回答した生徒は88.5%（全国92.6%）でした。  
 学力との相関関係を見ると、「当てはまる」と回答した生徒ほど教科の正答率が高い傾向が見られます。



- 自分には、よいところがあると思いますか
- 将来の夢や目標を持っていますか
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

「自分には、よいところがある」と回答した生徒の割合は88.5% (全国86.2%)で、全国平均を上回っていました。「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒は69.3% (全国67.5%)で、全国平均をやや上回っていました。今後、道徳の授業や人権教育、ポジティブな行動支援 (PBS) の更なる推進を図り、生徒の自己有用感等を高めていけるように取り組んでまいります。

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した生徒は96.8% (全国95.9%)で、全国平均とほぼ同程度でした。

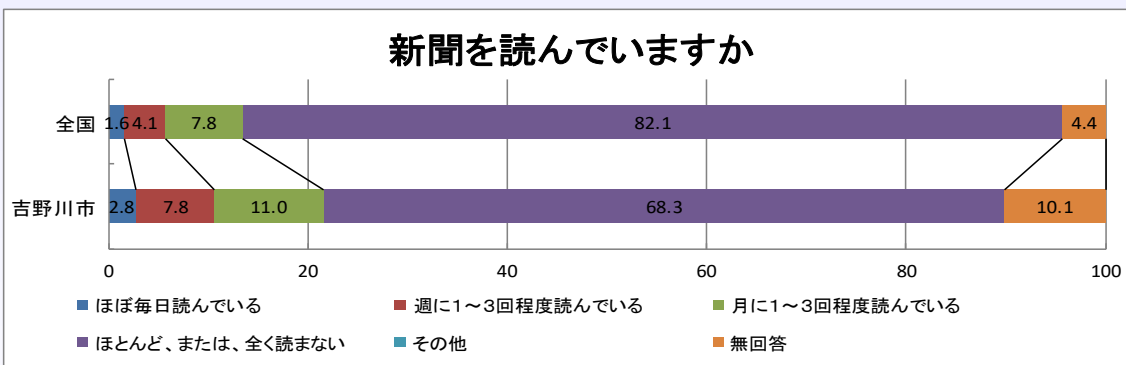
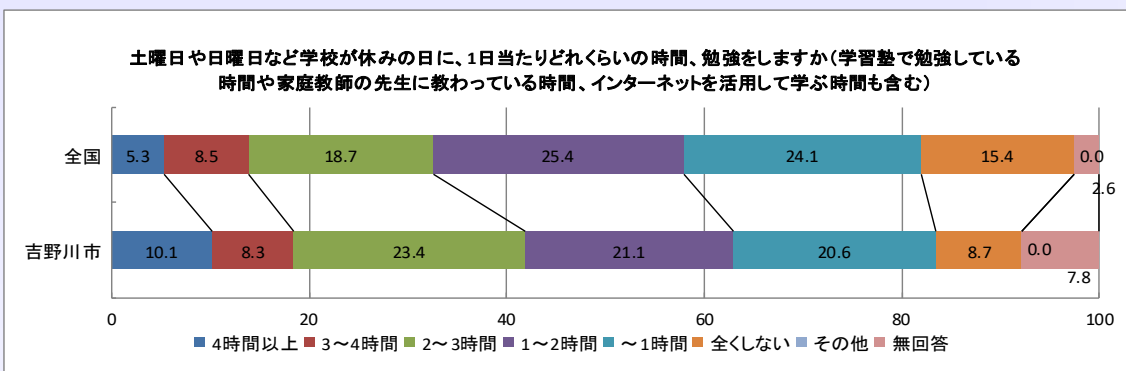
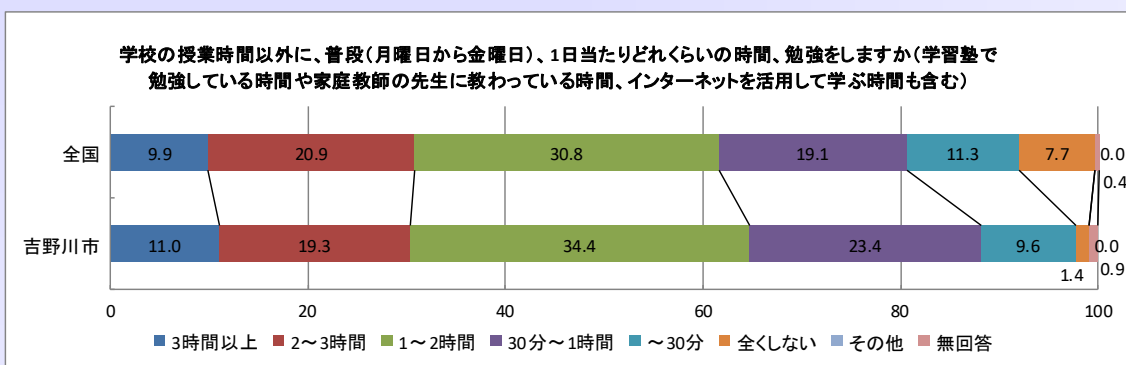


※ ポジティブな行動支援 (Positive Behavior Support:PBS) とは、望ましい行動に対する賞賛や承認を通して、全ての幼児児童生徒が主体的に適切な行動を身に付ける教育方法です。

- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- 新聞を読んでいますか

1日当たりの勉強時間については、「普段の日に、1日当たり1時間以上勉強をしている」と回答した生徒の割合が64.7%（全国61.6%）で全国平均を3.1ポイント上回っていました。また、「学校が休みの日に、1日当たり一時間以上勉強している」と回答した生徒の割合は62.9%で、全国平均を上回っていました。

「新聞をほぼ毎日読んでいる」「週に1～3回程度読んでいる」「月に1～3回程度読んでいる」と回答した生徒の割合は合わせて21.6%（全国13.5%）で、全国平均上回っていました。新聞に触れる機会を更に増やし、言語力向上を図ってまいります。



《ICT を活用した学習状況等》

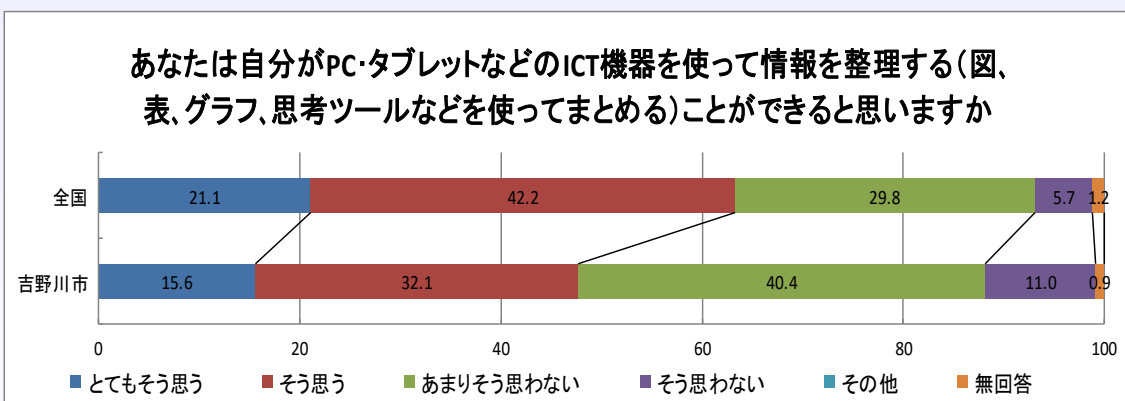
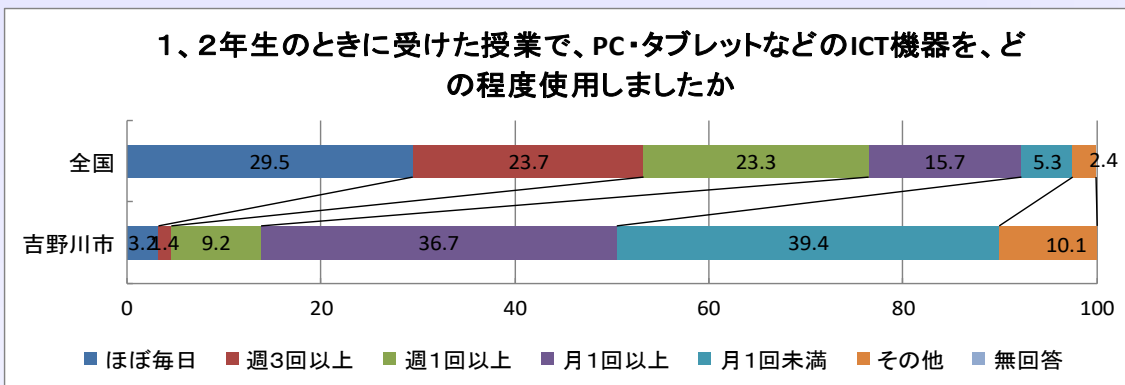
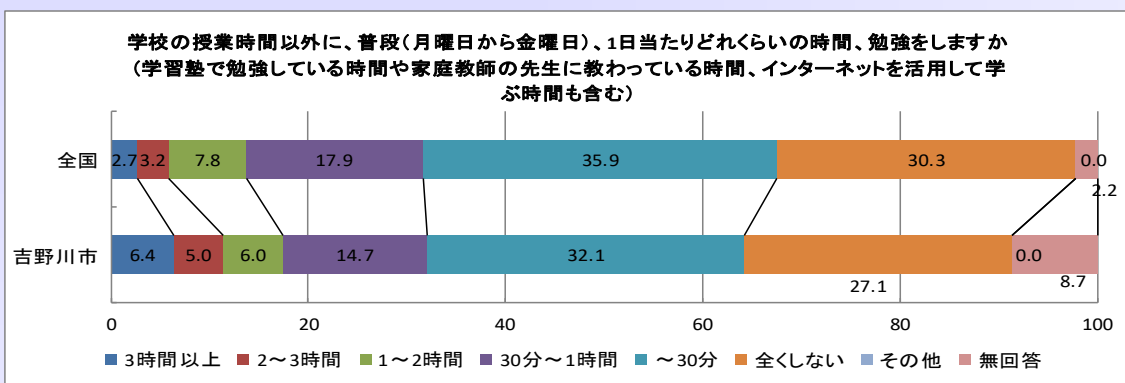
中学校

- 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)
- 1・2年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
- あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか

「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている」と回答した生徒は17.4%(全国13.7%)でした。

「学校の授業時間に、週3回以上、PC・タブレットなどのICT機器を使用した」と回答した生徒の割合が50.5%(全国92.2%)で全国平均を大きく下回っていました。

「自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができる」と回答した児童は、47.7%(全国63.3%)でした。



《主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況等》

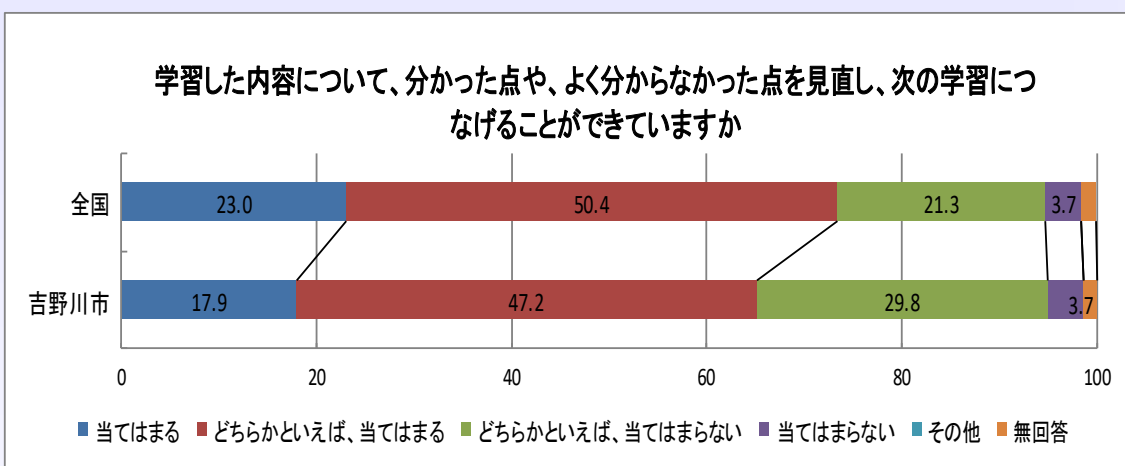
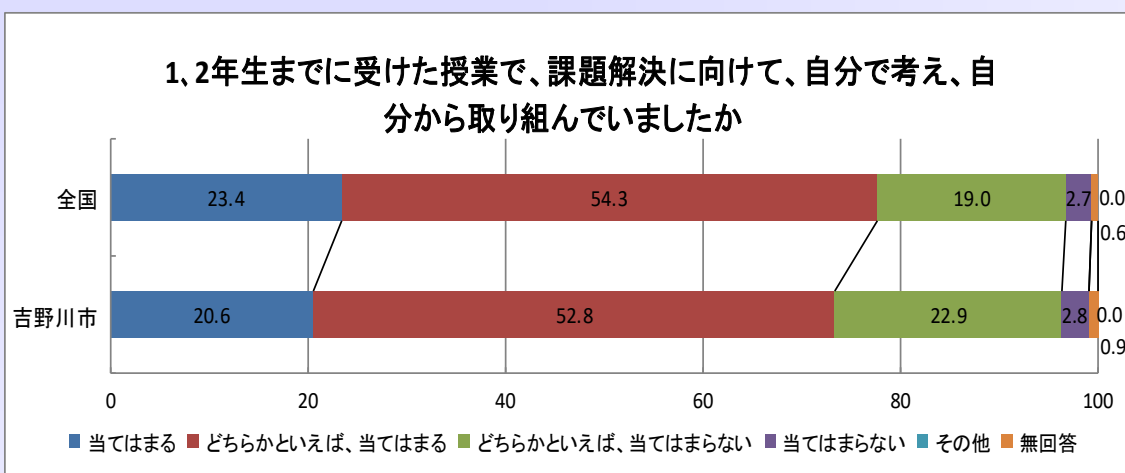
中学校

- 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

1、2年生までに受けた授業において「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている」と回答した生徒は73.4%（全国77.7%）となっています。

また、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と回答した生徒は65.1%（全国73.4%）で、全国平均を下回っていました。

学びを振り返る場面を授業で適切に設定し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善に取り組んで参りたいと思います。

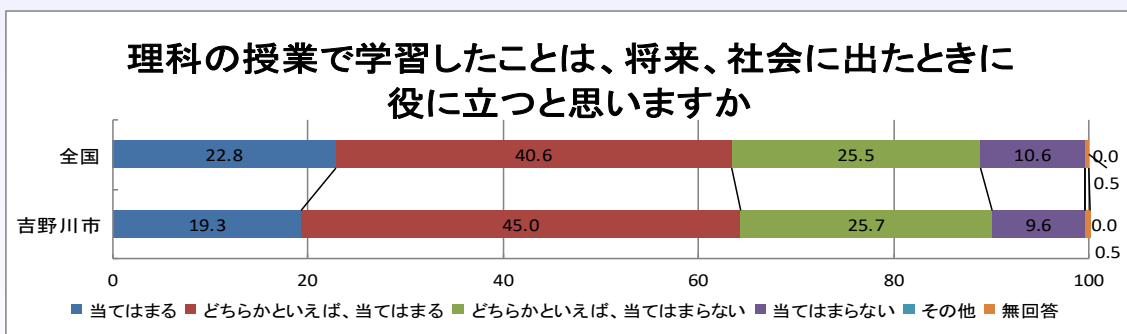
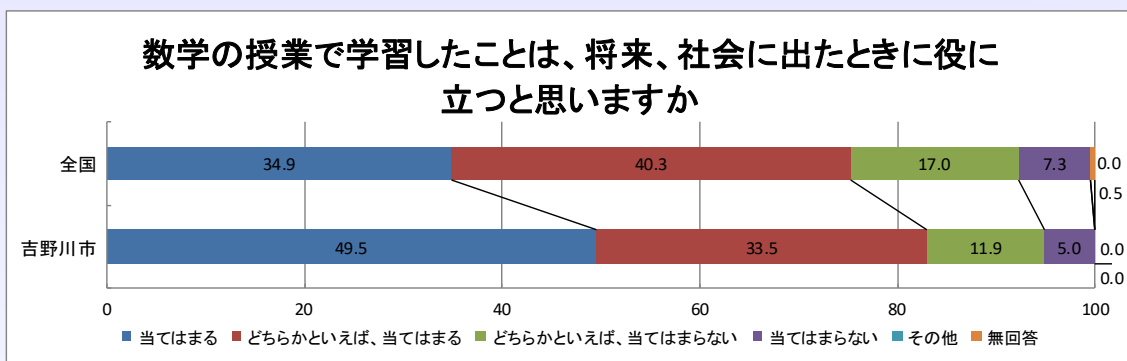
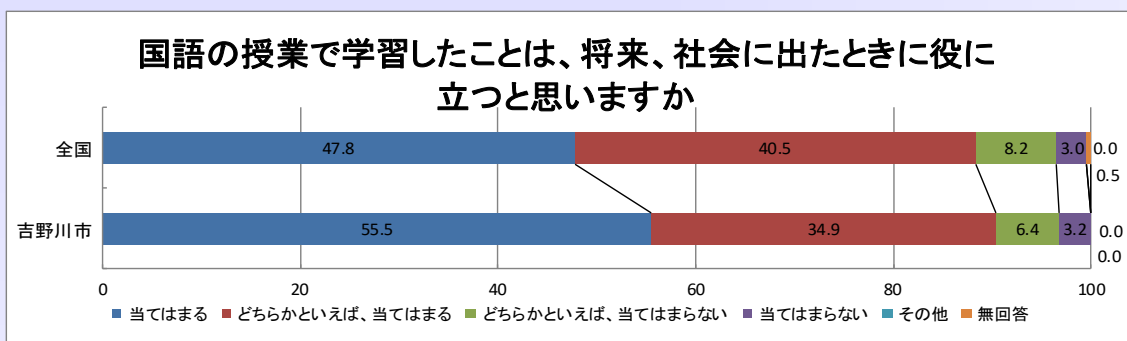


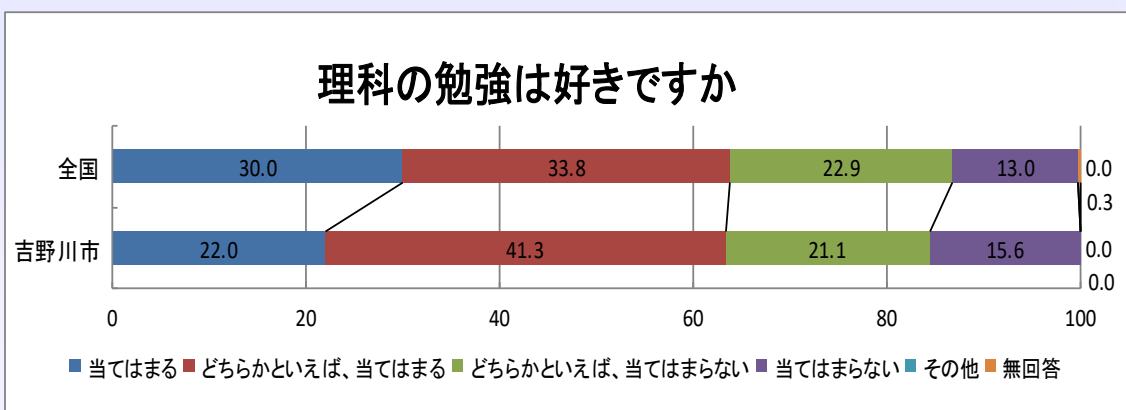
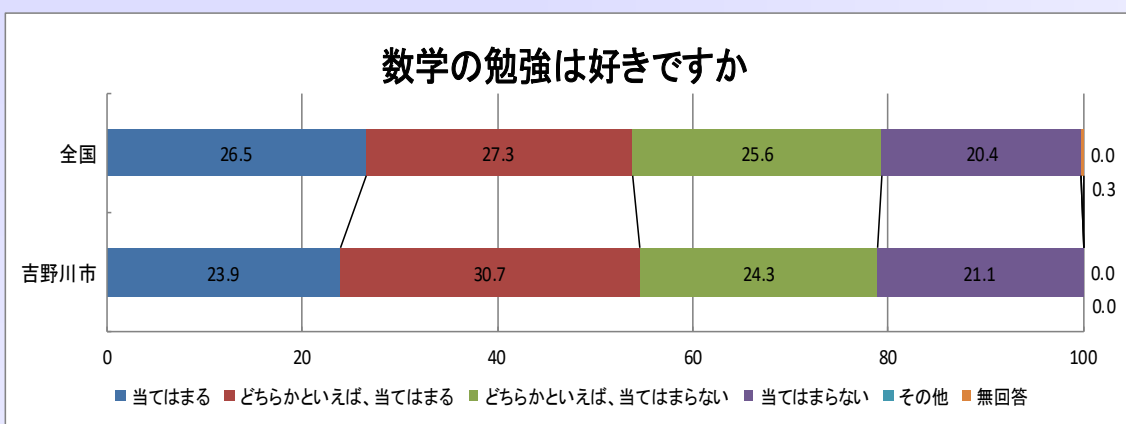
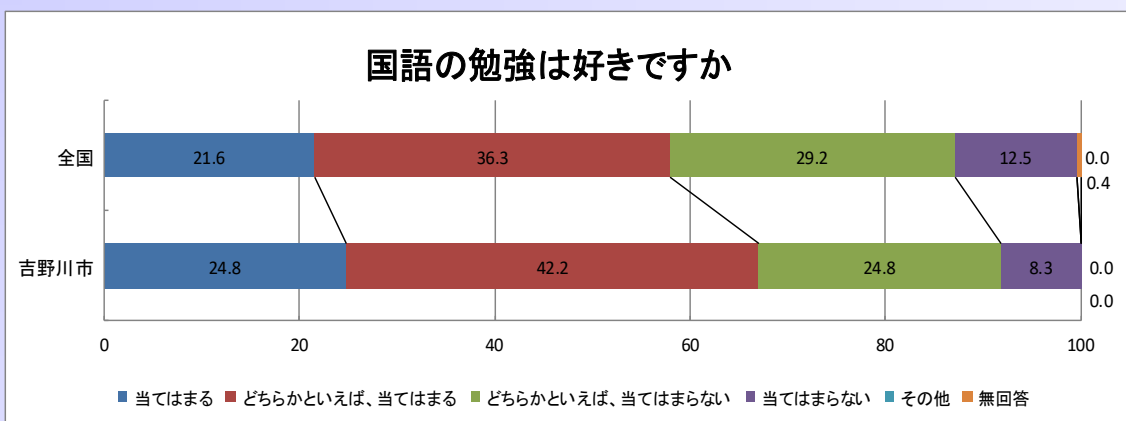
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 国語の勉強は好きですか
- 数学の勉強は好きですか
- 理科の勉強は好きですか

「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合は90.4%（全国88.3%）、「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」は83.0%（全国75.2%）、であり、国語も数学も全国平均を上回る結果となっています。「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合は64.3%（全国63.4%）で全国とほぼ同程度となっています。

また、「国語の勉強は好きだ」と回答した生徒は、67.0%（全国57.9%）となっており、全国平均を上回る結果となっております。「数学の勉強は好きだ」54.6%（全国53.8%）、「理科の勉強は好きだ」と回答した生徒は、63.3%（全国63.8%）で、全国とほぼ同程度となっています。

生徒たちが「勉強が楽しい」「勉強が好きだ」と感じられるような授業を展開していくために、授業改善に取り組んでまいります。





#### (4) 吉野川市の学力向上への取組

- ① 「学力向上実行プラン」の目標や内容等を全職員で共通理解し、学力向上推進員を中心に、基本的な生活習慣の確立や授業改善等について、組織的な取組を推進してまいります。
- ② 「授業のめあてとまとめ」を毎時間示し、1時間の授業のねらいを明確にするとともに、児童生徒にとって「分かる楽しさを実感できる」授業の実践に取り組んでまいります。
- ③ 内容や時間のまとまりを見通しながら、言語活動の充実や情報活用能力の育成を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んでまいります。
- ④ 「GIGAスクール構想」により整備された「1人1台端末」を最大限に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実してまいります。
- ⑤ 各校の実態に応じて、ドリル学習(ドリルパーク等)やミニテスト(テストパーク等)などを実施し、知識の定着を図ってまいります。
- ⑥ 各校で「家庭学習の手引き」を作成し、児童生徒と保護者への啓発のために配布・活用してまいります。
- ⑦ 本市の学力課題に対応した市研修会を実施するとともに、学校においては、さらなる校内研修の充実を図るなど、教職員の指導力向上に努めてまいります。
- ⑧ 特別支援教育についての理解を一層深め、個に応じたきめ細かな指導や児童生徒の特性に合った指導方法の工夫等に取り組んでまいります。
- ⑨ 一斉読書の設定や、学校図書館のさらなる活用等を通じて、読書活動のさらなる推進を図ってまいります。
- ⑩ 各学校でポジティブな行動支援(PBS)の推進を図り、児童生徒の望ましい行動に対する賞賛や承認を通して、学習規律の定着や学習意欲の向上を図ってまいります。

- 授業改善に向けた4つの視点
  - ・ 基礎・基本の充実と活用力の育成をバランスよく行います。
  - ・ 考えや意見等を書く活動を積極的に取り入れます。
  - ・ 学びを振り返る場面を授業の終末で適切に設定します。
  - ・ 「徳島版読解力」の特に「正確に読む力」に加えて、「必要な情報を取り出す力」の育成を行います。

## (5) 学力向上に向けてご家庭で取り組んでいただきたいこと

- ① 「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけ、望ましい生活・運動習慣を身に付けるようにしましょう。
- ② 携帯電話・スマートフォンやコンピュータ、テレビゲームなどの使用においては、使い方や使用時間等についてのルールを確認して、きちんと守れるようにしましょう。
- ③ 身の回りを整理・整頓し、学習準備を整えるなど、集中して学習できる環境づくりに努めましょう。
- ④ 様々な場面において、子どものよさや成長を認めたり誉めたりして、自己有用感を高められるようにしましょう。
- ⑤ 夢や目標、それを実現するための課題等について家族で話す機会を設け、自己の将来や豊かな人生を切り拓いていけるようにしましょう。
- ⑥ 一人一人の違いや個性を認め合い、尊重し合うことを大切にし、お互いの人権を守っていきましょう。
- ⑦ 家庭での学習時間を発達段階に応じて十分に確保し、「家庭学習の手引き」などを活用して家庭学習内容を工夫しましょう。
- ⑧ 学校図書館・図書室や地域の図書館を活用するなどして、本や新聞などの活字に親しませるなど、望ましい読書習慣を身に付けるようにしましょう。
- ⑨ 地域との連携を図り、ボランティア活動や自然体験、地域行事への参加などの豊かな体験を充実させるようにしましょう。
- ⑩ 「なぜ」「どうして」など進んで子どもに問いかけ、生活の中で、さまざまな事象について子どもに深く考えさせる場面を設けるようにしましょう。